

いいあんべしたじゃ～

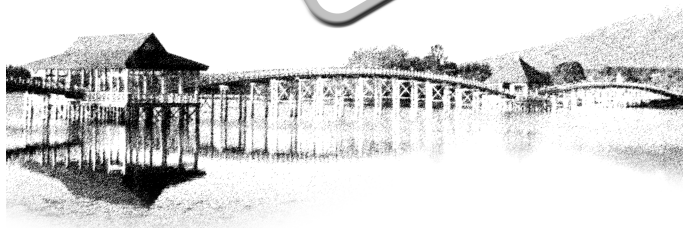
6月2日（金）、鶴田町上下水道協会（斉藤博昭会長）の会員11人が、全国水道週間の一環として水道設備の点検修繕ボランティアを行いました。

このボランティア活動は水道設備の点検と簡易な修繕を無料で行うもので、今年で6年目を迎えます。今回は、水元地区在住の70歳以上の一人暮らし17世帯を訪問しました。

この日、水漏れのため蛇口を交換してもらった渋谷キミエさんは「助かってまったじゃ。どうもありがとう」とお礼を言っていました。会員の方たちは一人暮らしを気遣い、修繕だけではなく世間話をしたり、優しく声をかけたりしながら和やかな雰囲気で作業をしていました。



△レバー式の蛇口に交換、とても使いやすくなりました



あなたの地区の楽しい催しや出来事などを役場企画課広報国際係までどしどしお知らせください。（☎22-2111 内線264）

大型絵本がやって来たぞ～

6月3日（土）、つるた乳幼児園（福澤紀子園長）で、朝ごはん推進事業の一つの「大型絵本」の読み聞かせが行われました。

藤本佳代子さん（藤崎町）を講師に迎え、手作りの絵本「げんきになったタルツくん」を園児たちに読み聞かせてくれました。内容は朝ごはんの大切さを教えるもので、かわいらしい絵と楽しいお話に園児たちはどんどん引き込まれていき、読み終わった後にはアンコールの声と拍手が鳴り止みませんでした。

お礼に園児たちは花束と歌と踊りのプレゼントをし、「早寝早起き朝ごはん！」とみんなで声をそろえて誓い合いました。



△絵やお話はすべて藤本さん作、身を乗り出して聞き入る園児たち

結成50年の活動をたたえ

6月5日（月）、つがる富士見荘で会員約70人が出席し、鶴田町連合婦人会50周年記念式典を祝いました。

一戸カノエ会長は「今日まで会が継続できたのは、多くの先輩方のご指導と会員一人一人の努力と支えのおかげ。先輩方の意志を引き継ぎながら新しい波も加えて今後も活動していきたい」とあいさつを述べました。

その後、会の発展に尽力した鈴木久さん、宮本くにさん、須郷セツさん、吉田ハツエさんの四人に感謝状が授与されました。宮本くにさんは「婦人会がよりよい町にしてくれることを願っています」と謝辞を述べました。



△11月に100歳を迎える宮本くにさん。若々しさに一同ビックリ



△初めての実すぐり体験を楽しむ3年生のリンゴ娘たち

収穫を楽しみに実すぐり体験

6月14日（水）、梅沢小学校（斉藤光正校長）の3、6年生32人が学校そばのリンゴ園地で摘果作業（実すぐり）をしました。

これは児童たちに地域の素材に触れ、農業を通して農業の大変さや大切さを知ってもらおうという体験学習の一つで、今年はリンゴの栽培を行っています。

6年生の小山内茜さんと高橋怜奈さんは「作業は楽しいけれど、中心の実を切らないように注意するのが大変」と話していました。秋には収穫したリンゴ、ジャム、ジュースを「鶴の里あるじゃ」で販売し、その収益でお世話になった方々と交流会を行うそうです。

仕事の疲れはお酒でいやそう

6月16日（金）、鶴田料飲業組合（花田正逸理事長）主催の「第19回つるたじょっぱりチャリティー酒まつり」が文化通りと豊明館（抽選会）で行われました。

まつりは大好評で、今年も700人の参加者が、乾いた喉を潤しに29店舗の飲食店をはしご酒しました。参加者は5軒の店を回り一杯ずつお酒を飲み、スタンプを押してもらって最後に抽選をすることになっています。景品も冷蔵庫、洗濯機など豪華な品ぞろえです。町外からの参加者も多く、参加した女性は「対応も景品もいいので何度も参加しています。とても楽しかった」と話していました。



△気の合う仲間と酔い痴れて、見知らぬ人ともお友達になれる酒まつり